

## 令和6年度 社会福祉法人 播磨福祉会 みらい保育園 保育士自己評価

本園では、保育の質の向上を図るため、保育士の自己評価を行いました。総合評価に基づき、本園の自己評価を行いましたので、情報を公開いたします。

※各保育士による自己評価を基に、総合的な結果をだし、評価の低かった点については、改善策を話し合い、共通理解のもと改善に努めます。

### 【保育士自己評価】

各項目ごとに評価の回答数を合計して、記載しています。

対象・・・保育士18名（設問によっては対象人数がことなる場合があります）

※評価対象の保育士人数は、18名で行ったが、設問の内容により無回答も含め、回答総数が異なる場合があります。今回の評価結果を踏まえ、振り返りを行うことにより、保育実践、内容等の課題を見つけ、改善の方向を探り、保育の質を向上させるとともに今後、さらに豊かな保育を展開していくために活用していきます。

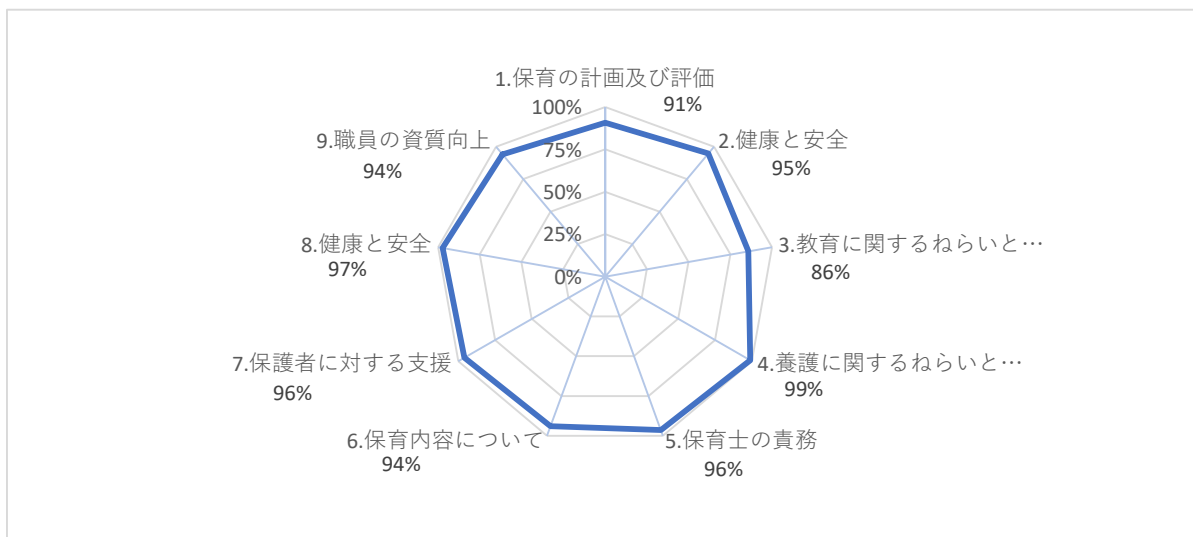
A：よくできた B：できた C：できなかった

### ◎評価結果（対象：保育士）

令和6年10月31日実施

※よくできた・できたの割合

項目	割合
1.保育の計画及び評価	91%
2.健康と安全	95%
3.教育に関するねらいと内容	86%
4.養護に関するねらいと内容	99%
5.保育士の責務	96%
6.保育内容について	94%
7.保護者に対する支援	96%
8.健康と安全	97%
9.職員の資質向上	94%



### ●総評

昨年度と同様に、多くの保育士が、「教育に関するねらいと内容」における身近な社会との関わりの項目をできなかったと回答していた。

年長児においては、老人福祉施設の訪問で地域の人たちとの交流を持てたが、それ他の年齢は、近所の公園への散歩など計画を立てて、実践していきたいと思う。

一人ひとりの保育教諭が、自己評価をして振り返りを行うことで専門性の向上に意味を持つと思う。